

次	時	学習活動・内容	指導上の留意点	評価規準（評価方法）
1	2	Pro.5 Section 1 (1) ・基本文の学習 look+形容詞の理解 ・インタビュー活動 ・look+形容詞の練習	① look+形容詞を用いたほめ言葉を書き、 反復練習によって確実に定着させ、 また、それ以外のほめ言葉に ③ ①と②をまとめたカードを作成し、 それを整理し、生徒に配り、 家庭学習の課題として配る。 ● 家庭学習の課題を配布する。	関 ほめ言葉を用いたインタビュー活動に積極的 に取組んでいる。（様相チェック） 言 look+形容詞を用いた文を正しく書くことができる。 （プリント分析）
		Pro.5 Section 1 (2) ・look+形容詞とほめ言葉の復習練習 ・新出語句の練習 ・本文の聞き取りと内容理解 ・音読練習と発表	③ ①と②をまとめたカードを作成し、 それを整理し、生徒に配り、 家庭学習の課題として配る。 ● 家庭学習の課題を配布する。	理 本文の内容を理解している。（プリント分析） 表 本文を正しく音読することができる。 （発言チェック）
2	2	Pro.5 Section 2 (1) ・Section 1 ワードテスト ・基本文の学習 give+人+物の理解と自己表現	① ● ワードテストに向けて、 αノートに示す。しりとり ① ②をまとめたカードを作成し、 それを整理し、生徒に配り、 家庭学習の課題として配る。 ● 家庭学習の課題を配布する。	言 give+人+物を用いた文を正しく書くことができる。 （プリント分析）
		Pro.5 Section 2 (2) ・give+人+物の復習 ・新出語句の発音練習 ・本文の聞き取りと内容理解 ・音読練習と発表	③ ①と②をまとめたカードを作成し、 それを整理し、生徒に配り、 家庭学習の課題として配る。 ● 家庭学習の課題を配布する。	理 本文の内容を理解している。（プリント分析） 表 本文を正しく音読することができる。 （発言チェック）
3	2	Pro.5 Section 3 (1) ・Section 2 のワードテスト ・基本文の学習 think+that 節の理解と自己表現	① ● ワードテストに向けて、 αノートに示す。しりとり ① ②をまとめたカードを作成し、 それを整理し、生徒に配り、 家庭学習の課題として配る。 ● 家庭学習の課題を配布する。	言 think+that 節を用いた文を正しく書くことができる。 （プリント分析）
		Pro.5 Section 3 (2) ・think+that 節の復習 ・新出語句の発音練習 ・本文の聞き取りと内容理解 ・音読練習と発表	③ ①と②をまとめたカードを作成し、 それを整理し、生徒に配り、 家庭学習の課題として配る。 ● 家庭学習の課題を配布する。	理 本文の内容を理解している。（プリント分析） 表 本文を正しく音読することができる。 （発言チェック）
4	2	Pro.5 の復習とまとめ ・Section 3 のワードテスト ・スキットを作る ・発表の準備	① ● ワードテストに向けて、 αノートに示す。しりとり ① ②をまとめたカードを作成し、 それを整理し、生徒に配り、 家庭学習の課題として配る。 ● 家庭学習の課題を配布する。	表 既習文法事項を用いて、 スキットを作ることができる。 （プリント分析） 関 既習文法事項を用いて、 対話練習に積極的 に取り組んでいる。 （様相チェック）
		まとめと発表会 ・単元テスト ・全体発表	① ②をまとめたカードを作成し、 それを整理し、生徒に配り、 家庭学習の課題として配る。 ● 家庭学習の課題を配布する。	関 ペアでのスキットの発表に積極的 に取り組んでいる。 （様相チェック）

(1) 本時の主眼

○既習文法事項を用いてのスキットを工夫してつくることできる。(表現の能力)

(2) 本時の指導観

前時までに生徒は look+形容詞を用いたほめ言葉やそれ以外のよく使われるほめ言葉について理解し、 give+人+物と think+that 節を用いて、自分の持ち物について表現する活動へと学習を行った。本時では、それを用いて、オリジナルのスキットをつくることを目標としている。一まず、その中で新出の語句の習熟度を確認し、再テストに向けて間違えた語をαノートに覚えさせる。次に、既習の文法事項を crisscross を通して復習し、定着させる。さらに、学習のめあてを知らせ、活動に目的意識をもたせ、始めのうちに、ノートに書くか、セリフを練習する。次に、スキットを考案し、絵や写真などを用いて、抑揚やリズムなどを意識して表現する。また、スキットの内容が豊かになるように指導する。本時のめあてと達成度を学習内容の理解度を確認させること、次の表現活動への意欲を高めること、

(3) 準備

教師…教科書、めあて表示カード、対話ワークシート、自己評価・相互評価用紙、ワードテスト、辞書
生徒…教科書、ノート、ファイル、自己評価カード、辞書

6 過程

学習活動・内容	指導上の留意点	評価規準(方法)	形態	配時
1 あいさつをする。	○英語であいさつ後、忘れ物、宿題を確認する。		全体	2
2 ワードテストを行う。	① ●ワードテストで語の習熟度を確認し、再テストに向けて間違えた語をαノートに覚えるまで練習するように指示する。		個	5
3 前時までの復習をする。	○ crisscross で既習の文法事項を定着させる。		全体	5
4 本時のめあてを確認する。	○めあてを知らせ、目的意識をもたせる。		個	3
めあて：オリジナルのスキットをつくろう！				
5 スキットのデモンストレーションを見る。	○教師の対話役として、生徒の希望者を募り、本時までに練習させておく。		全体	5
6 例文のスキットで対話練習をする。	○アイコンタクトなどにも注意しながら、くり返し対話練習するよう指導する。	関：既習文法事項を用いての対話練習に積極的に取り組んでいる。(様相チェック)	ペア	5
7 スキットをつくる。	①②例文のスキットを参考にして、オリジナルのスキットをつくる。辞書を活用するように指導する。	表：既習文法事項を用いてのスキットを工夫してつくることできる。(プリント分析)	ペア	15
8 スキットの発表をする。	○スキットが完成したペアに発表させ、相互評価を行わせる。		ペア	5
9 まとめと自己評価を行う。	③本時のめあてと達成度を振り返り、自己評価カードを記入させる。自分の家庭学習課題とBノートのスキットをαノートに指示する。		全体	5

